

2-1

Ver.7.5 新機能

CADPAC-CREATOR Ver. 7. 5 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.7.0 からの差分です)
【*****】は、該当のオンラインヘルプです。

2-1.2 次元汎用機能

1. 右パネル改造

画面廻りのボタンサイズを大きくし、クリックしやすくしました。
線スタイル、文字スタイル、モードパネルは一行追加し、機能を増やしました。良し使いやすくしました。

線スタイルパネル

色・線種・線幅・線端を各 1 行にし、選択しやすくしました。
下段の線スタイル確認欄は、[線種] [線幅] を追加し、リストから一発でせんたくできるようにしました。



文字スタイルパネル

文字フォントのリストを追加しました。フォントの種類を文字パネルから選択できます。ボタンを大きくクリックしやすくしました。



モードスタイルパネル

[図枠] [隠線] [朱書] のボタンを追加しました。
それぞれの表示オン（凹）オフ（凸）の切り替えができます。



レイヤースタイルパネル

ボタンのサイズを大きくして、クリックしやすくしました。



朱書き表示 ON

朱書き表示 OFF

朱書きハイライト表示

朱書き用の表示コントロール機能です。どれか一つを選択することができます。表示 ON/OFF は、右パネルモードパネルからも選択することができます。



3. レイヤー操作

アイコンツールバーにレイヤー操作を追加しました。

レイヤー操作は、本システムでレイヤー名称が設定されているレイヤー、または要素が作図されているレイヤーのみをダイアログボックスの一覧に表示し、表示のコントロール（表示オン、検出オフ、表示オフ）やレイヤー名称の編集を行うことができます。

【編集 / レイヤー / レイヤー操作】



レイヤー分解との違い

レイヤー分解は、1024 の全レイヤーを分解して表示するのに対して、レイヤー操作は、書き込みのあったレイヤーのみを表示しますので、書き込みのあったレイヤーを調べる時に便利な機能です。

設定ダイアログボックス

設定ダイアログボックスを開くと、プレビューの確認やレイヤー名称の変更、表示コントロールが可能です。



4. グループ操作

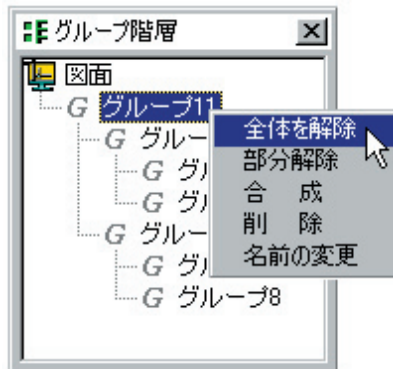
グループ操作コマンドを新規に追加しました。

グループ操作は、階層化されたグループの解除（全体・部分）や合体・削除などを、ダイアログボックスに表示された階層ツリーから、ビジュアルに行うことができます。

【構成 / グループ / グループ操作】

階層化されたグループ要素の解除は、グループ編集でも可能ですが、グループ操作コマンドでおこなうと、階層をビジュアルに表示するので、より分かりやすく解除が可能です。

また、グループ操作では、検出されたグループに任意の名称を付加することができます。次回以降の検出の際、階層に表示されたグループ名称により、指定することができます。



5. バインダー機能

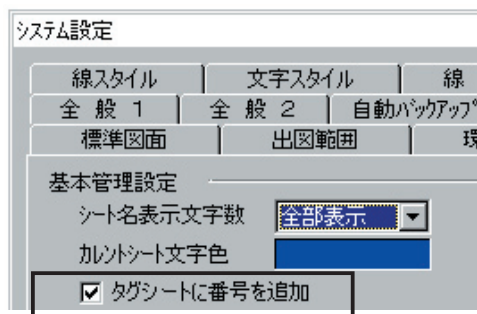
シートに自動で番号を付加し、数値 + HOME キーでシートの表示をワンタッチで切り替えられるようにしました。

シートのバインダー内複写をできるようにしました。

ツールビューを短縮キー [v] で開いたり閉じたりできるようにしました。【基本操作 1 / バインダーについて】

シートに自動で番号を付加し、数値 + HOME キーでシート表示補助 / システム設定 / バインダーの設定で、[タグシートに番号を追加] しました。このチェックが ON の場合、シートに自動的に番号を表示します。

シート枚数が多い場合、数値 + HOME キーで、直接そのシートをアクティブウィンドウに切り替えます。



シートのバインダー内複写機能を追加

新規バインダーにしかコピーできなかったシートを、同一バインダー内に複写できるようにしました。



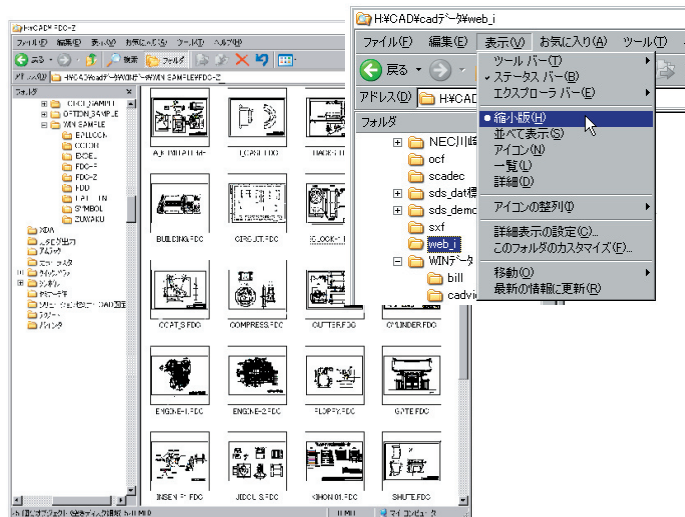
ツールビューを短縮キー [v] で開く / 閉じる

短縮キーの初期値に、[v] (スモールv) で、ツールビューを開いたり、閉じたりします。

6. エクスプローラでプレビュー表示

エクスプローラで、CADPAC で作図した 2 次元データの画像を見られるようにしました。

エクスプローラで表示される画像は、CADPAC の [開くコマンド] で表示されるプレビュー画像です。(ビットマップ画像) エクスプローラで画像を表示させるには、エクスプローラの表示メニューから [●縮小版] をチェックします。



この機能は、CADPAC のコマンドではなく、Windows のエクスプローラに直接機能するプラグインアプリケーションです。

Windows のレジストリに、設定情報を書き込みますので、アンインストールする場合は、アプリケーションの追加と削除から行います。

7. DEL キー削除

DEL キーで削除している時に、ダイナミックハイライトが有効の場合、検出範囲に複数要素あっても、要素が同一座標上になければ、確認をせず一発で削除するようにしました。



要素が同一座標上にないので
一発削除

要素が同一座標上あり、確認
をして削除

8. ME10 出力

ファイル / 外部出力 / に ME10 出力 (MI ファイル) コマンドを新規に追加しました。

ME10 出力は、CADPAC のデータを、ME10 形式の図面データに変換し、ファイルに出力します。

【ファイル / 外部出力 / ME10 出力 (MI ファイル)】

ME10 ファイルは、コクリエイト・ソフトウェア社の OneSpace Designer Drafting の図面データで、拡張子は「.mi」です。



9. ME10 入力

ME10 入力コマンドに、拡張子無しの MI ファイルを読みこみできるようにしました。

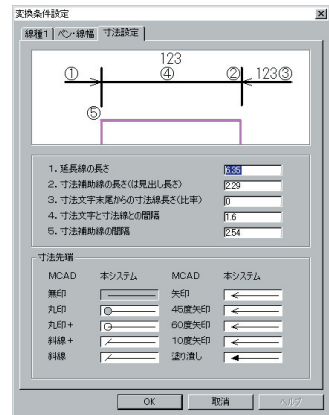
また、ME10 で作図されたパーツをシンボルで読み込むようにしました。

【ファイル / 外部入力 / ME10 入力 (MI ファイル)】

10. MCAD 入出力

MCAD データの入出力で、以下の項目に対応しました。

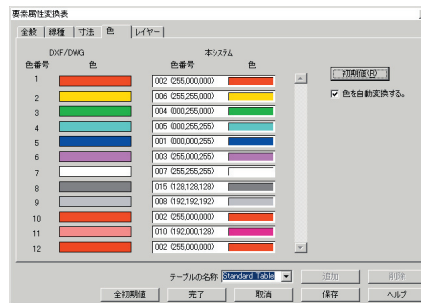
- ・ハッチングパターン対応 (V7.5 - R13)、
- ・寸法引き出し線距離設定対応 (V7.5 - R14)、
- ・ペン幅対応 (入力)、
- ・色指定設定 (入力)、
- ・シンボルの色対応 (入力)、
- ・シンボルの破断線対応 (入力)



11. DXF/DWG 入出力

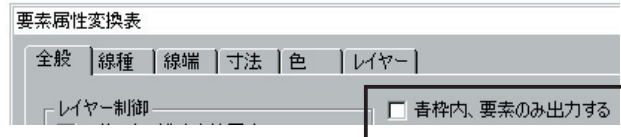
DXF/DWG データの入出力で、以下の変換機能を拡張しました。

- ・入力時に [色] タグを復活

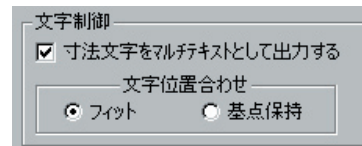


色彩を、CADPAC の基本色で入力したい場合、この色タグを利用し設定します。

- ・青枠内の要素のみ出力する設定

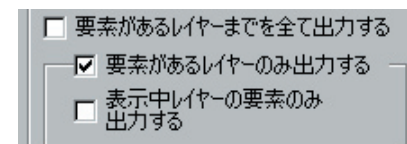


- ・寸法文字のマルチテキスト ON/OFF 設定



相手方が、AutoCAD でない場合、チェックをオフにします。

- ・要素があるレイヤーを全て出力する設定

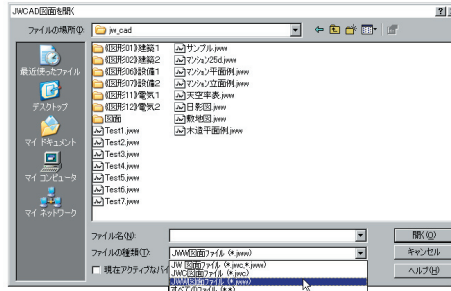


12. JW-CAD 入力

JWW ファイル入力

JW-CAD の JWW ファイルを入力できるようにしました。
出力は次バージョンでの対応予定です。

【ファイル / 外部入力 / JW-CAD】



13. 新規図面

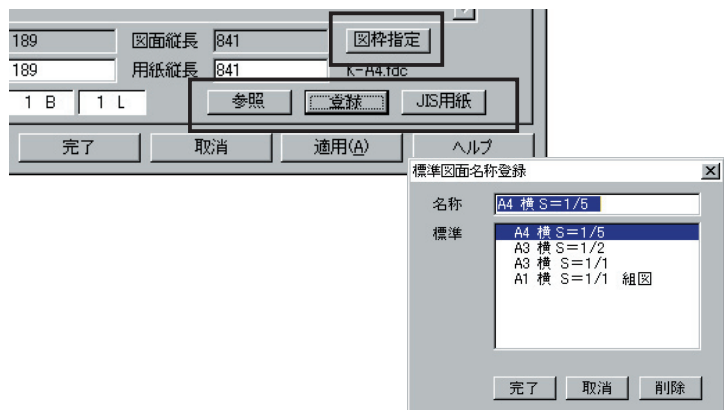
図枠付き定義

新規図面の時に、同時に図枠付きで図面の設定ができるようになりました。【ファイル / 新規図面】



システム設定 / 標準図面

図枠付きの定義は、[補助 / システム設定 / 標準図面] で設定します。[図枠指定] → [名称登録] の順で設定します。



14. バルーン

バルーンと部品表連動

機械オプションとの連動で動作するバルーンと部品欄連動を正式コマンド化（前バージョンではお試し）しました。

【作図 / 文字記入 / バルーンと部品欄連動】

整列機能

作図されたバルーンを水平または垂直に並べ替える機能をCSBに追加しました。[B. 変更] 実行時にのみ有効な機能です。



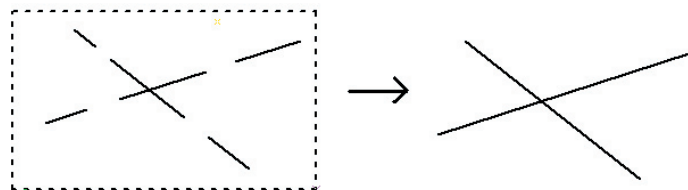
15. 線分連結

枠指定で一括選択

複数要素を枠指定で連結する機能を追加しました。

要素指定の際、マウス右ボタンで枠指定モードとなります。

【編集 / 変更 / 線分連結】



16. 補助線

水平 / 垂直ボタン

水平 / 垂直ボタンを追加しました。

【作図 / 直線 / 補助線】

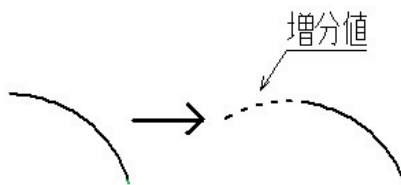
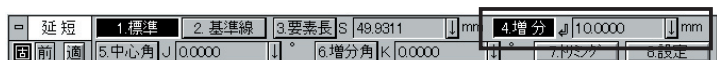


17. 延長短縮

円弧・楕円弧要素で指定距離増分値

円弧と楕円弧で指定長さ分の増減値を入力できるようにしました。

【編集 / 変更 / 延長短縮】



18. 多角形

一辺指定長さで作図

多角形の一辺の長さから、作図できるようにしました。

【作図 / 定型 / 多角形】



19. 切断形状

パイプ幅の指定

切断形状のパイプ幅の指定をできるようにしました。

【作図 / 曲線 / 切断形状】



20. 文字飾り

移動・複製に追従

対称 / 拡大縮小の移動・複製にも追従するようにしました。

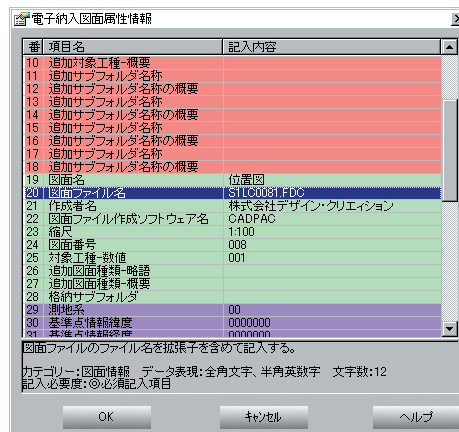
変形や寸法変更には未対応です。【編集 / 複製・移動】

21. CAD 製図基準コマンド

管理項目

管理項目を最新基準に対応しました。

【構成 / SXF / CAD 製図基準】



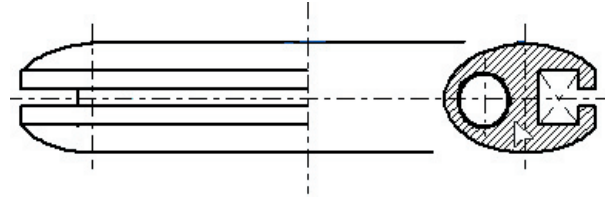
22. 回転体 機械オプション

回転体の計測

回転体のコマンドを新規に追加しました。

回転体は、ドーナツ状の回転体の「表面積」「体積」「重量」を計測します。ユーザー指定の比重を指定できます。

【専用 / 機械計測 / 回転体】



23. ネジコマンド 機械オプション

新 JIS 対応

なべ小ネジ、丸皿ネジ、丸小ネジ、止め小ネジを新 JIS 規格に対応させました。【専用 / 機械定型 2 / ネジ・・・】

旧バージョンのネジコマンドで作図されたネジ本バージョンのネジコマンドで編集すると、新 JIS 版の形状となります。

従来のコマンドは、【ヘルプ / 旧コマンド / 旧・ネジ】移行しました。

24. JIS 機械パーツ 部品点数

部品点数

JIS 機械パーツの部品点数は、Ver. 7.5 で 47 万点です。

オンラインでは、一ト月ごとに追加とメンテがされています。

【専用 / JIS 機械パーツ / 総部品点数】

名称	正面図	側面図	上面図	断面図	5面図	6面図	7面図	8面図	合計
1. 金属・非金属材料	5201	5057	2781	11081	0	0	0	0	24120
2. 機械要素	22485	12489	6770	13699	290	96	0	0	55829
3. 伝導・回転機器	19291	16466	3990	11162	0	288	0	0	51197
4. 軸受・直動機器	12139	11418	4431	27485	0	0	0	0	55473
5. 配管部品	5488	5035	2883	1133	0	0	0	0	14539
6. 空圧機器	22903	19174	18401	0	466	45	0	0	60989
7. 油圧機器	7540	6348	5658	6	0	0	0	0	19552
8. モーター・減速機	17481	17098	12946	398	154	939	16	0	49032
9. バルブ・ポンプ・ファン	1978	1868	1727	1	103	13	0	0	5690
10. コンベヤ・荷役機械	837	826	799	5	1	0	0	0	2468
11. プレス金型部品	8716	1933	6081	505	0	0	0	0	17235
12. プラスチック金型部品	8102	7451	811	0	0	0	0	0	16364
13. スイッチ・センサ	4817	4608	3043	50	265	181	1	0	12965
14. ハンドル・キャスター・小物部品	23422	16771	15899	1886	210	154	136	27	58505
15. 治具・工具・工作機械	5987	2880	1924	262	28	4	0	0	11085
16. ロボット	4359	4093	4305	0	1408	3609	951	0	18725
合計	170746	133515	92449	67673	2925	5329	1104	27	473768

25. S/W インターフェース S/W スケッチ

S/W スケッチ

SolidWorks の投影図、断面図に中心線が付けられるようになったことにより、各 SolidWorks 連携コマンドに対応しました。



26. FUSION 3D

機能追加は、ありません。メンテナンスのみを行いました。